

# 舟戸橋史

往古一條の綱に依書狀通信をしたるに依り狀吊と稱す舞鶴京都の要路たり文政十三年渡舟場明治初年丸太橋明治二十二年府の許可を得橋錢を徴す板橋を架設舟戸橋と稱す町村制に依り村道と成大正十二年由良川發所創設に俱ひ鉄線吊り橋となりたるも再三風水害を蒙り又昭和二十八年九月二十五日台風十三号に依り根こそぎ流出の憂き目に相ひ村長以下係員の熱意と村民の努力と国库補助により永久橋を架設され地元民の受益浩大にして歡喜に堪ず記して後昆に傳へん